



決算補足資料

2024年2月期 / 第1四半期

株式会社イオンファンタジー



2024年2月期
第I四半期

目次

01

連結決算概要

02

重点取組み概要

- ・国内事業
- ・中国事業
- ・アセアン事業

03

業績予想

04

単体資料



2024年2月期第1四半期

01

連結決算概要

連結業績

売上高は前年同期比16.4%増

(2023年3月1日～2023年5月31日)

(単位：百万円、%)

	2023年2月期 第1四半期	2024年2月期 第1四半期	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	16,161	18,804	+2,643	16.4
売上総利益	1,156	1,559	+403	34.9
営業利益	△ 325	△ 64	+261	—
経常利益	274	105	△ 168	△ 61.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 618	△ 215	+403	—
1株当たり四半期純利益	△31.28円	△10.88円	+20.40円	

セグメント状況

売上高は全セグメントで前年同期から増加

営業利益は前年同期から+261百万円

(2023年3月1日～2023年5月31日)

(単位：百万円、%)

		国内	海外		海外計	連結計
			中国	アセアン		
売上高	実績	14,902	1,447	2,502	3,950	18,804
	前期比 増減率	+10.2	+84.9	+34.6	+49.5	+16.4
営業利益	実績	203	△ 558	290	△ 267	△ 64
	前期比 増減額	+159	+144	△ 42	+102	+261

連結貸借対照表

連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

	前期末		当期		前期比 増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	10,842	23.1	12,115	24.3	+1,272
固定資産	36,074	76.9	37,735	75.7	+1,660
資産合計	46,917	100.0	49,850	100.0	+2,933
流動負債	32,354	69.0	36,245	72.7	+3,891
（短期借入金・1年内含む）	20,849	44.4	23,785	47.7	+2,936
固定負債	6,424	13.7	5,862	11.8	△ 561
（長期借入金）	1,025	2.2	718	1.4	△ 307
負債合計	38,778	82.7	42,108	84.5	+3,329
純資産合計	8,138	17.3	7,742	15.5	△ 395
負債純資産合計	46,917	100.0	49,850	100.0	+2,933

店舗数

()数字はFC店舗数

	従来業態			戦略的小型店				計	当期 新店	当期 閉店
	Mollyfantasy PALO	kidzooona	その他	TOYS SPOT PALO	PRIZE SPOT PALO	Tiny Molly fantasy	その他			
日本	395	4	34	180	43	-	-	656	50	3
中国	127 (6)	46	11	-	-	-	6	190 (6)	3	8
アセアン	56 (1)	144 (4)	16	3	-	22	4	245 (5)	9	4
マレーシア	46	28	13	3	-	17	2	109	3	2
タイ	4	20	-	-	-	3	-	27	1	1
フィリピン	-	51	-	-	-	-	-	51	1	1
インドネシア	-	32	2	-	-	-	-	34	1	0
ベトナム	5	9	1	-	-	2	2	19	1	0
その他	1 (1)	4 (4)	-	-	-	-	-	5 (5)	2	0
合計	578 (7)	194 (4)	61	183	43	22	10	1091 (11)	62	15
業態合計	833			258						



2024年2月期第1四半期

02

重点取組み概要

国内事業

アミューズメント



新規出店 **2**
(計423店舗)

カプセルトイ専門店



新規出店 **31**
(計180店舗)

プライズ専門店



新規出店 **15**
(計43店舗)

その他



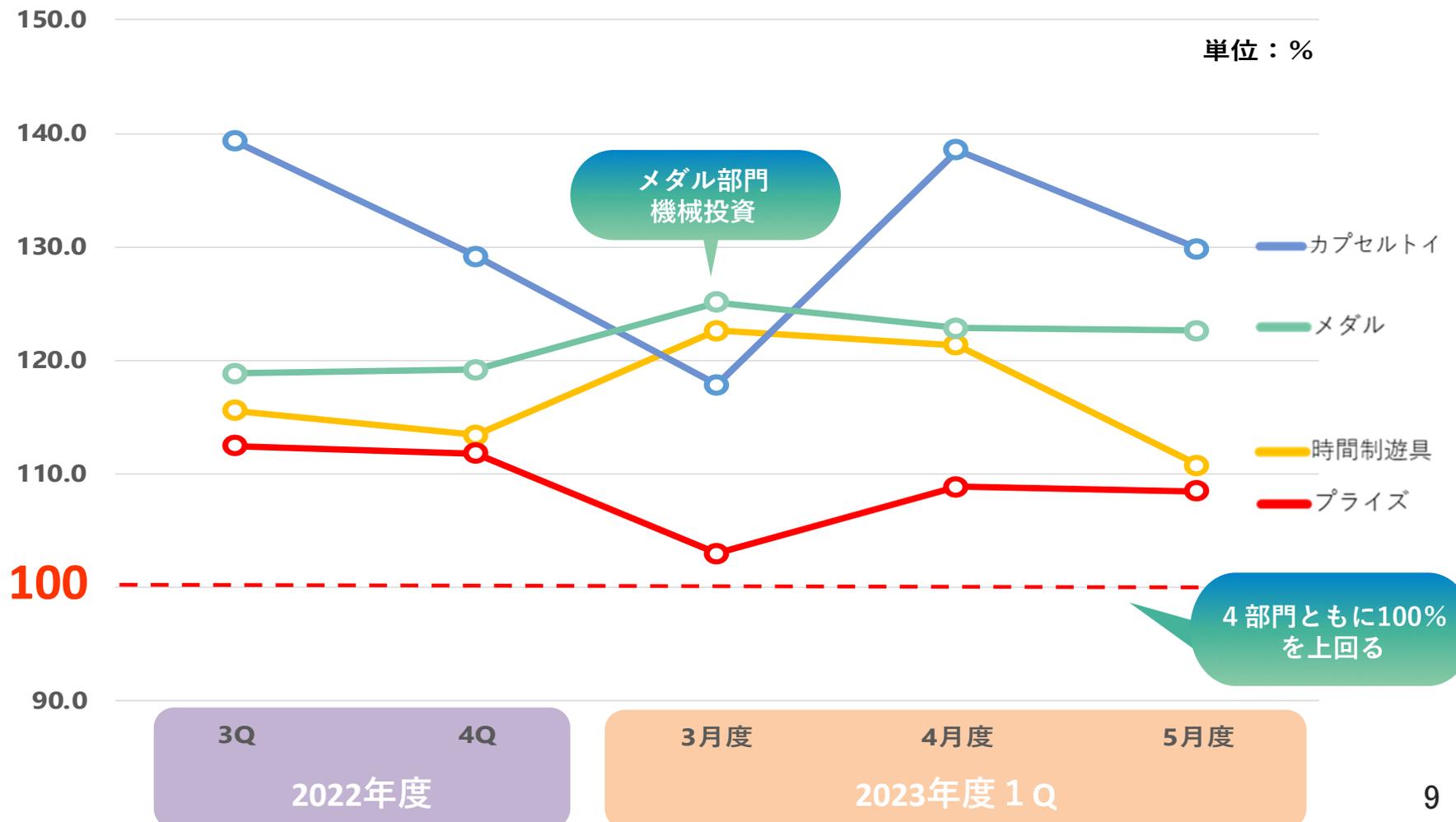
新規出店 **2**

主要部門売上高既存店前年比推移

主要部門は全て前年比100%を超えて好調に推移

メダル部門は3月に3年ぶりの機械投資を実施

<既存店前年比・曜日調整後>

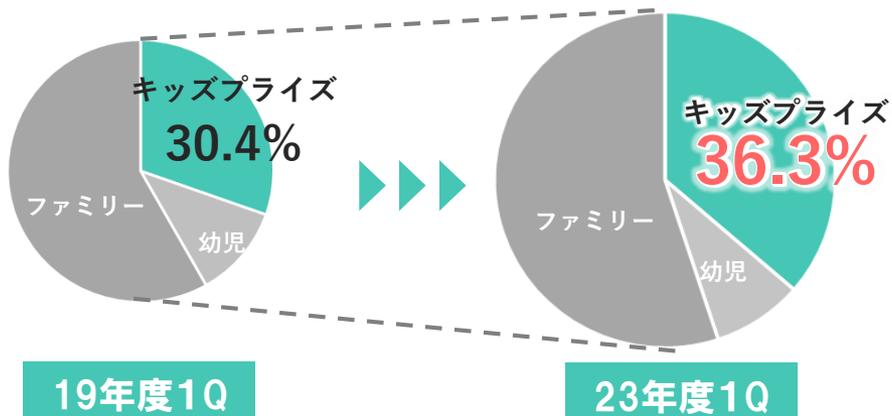


キッズプライズの拡大

キッズプライズ売上高
既存店前期比 **115.5%**

- 低単価商材を展開している小型クレーンブースの人気継続

プライズ全体の
売上も増加



プライズ部門内構成比



キッズプライズコーナー

ファミリープライズの限定景品

ファミリープライズ売上高
既存店前期比 **101.8%**

- 当社の客層に合わせた当社限定景品を毎月投入
- GW期間は小学生に人気の「マイクラフト」「スーパーマリオ」を展開



マイクラフト景品



JOLLY ONLINE
アームは奥まで届きません
1回 100円
6回 500円

機械投資の再開・売上対策

- コロナ禍で控えていた機械投資を3年ぶりに再開
- ファミリーに大人気の桃太郎電鉄など他社に先駆け100台以上投入し売上回復が続く
- GW期間の売上対策として毎回好評の増量キャンペーンを実施



ホリアテール



増量キャンペーン



桃太郎電鉄

料金改定

- 4/1以降、サービスレベル向上のためスキッズガーデン・キッズーナ・にこはぴきっずの料金を改定
- 料金改定後も前年比100%を超えて推移

料金改定(スキッズ)

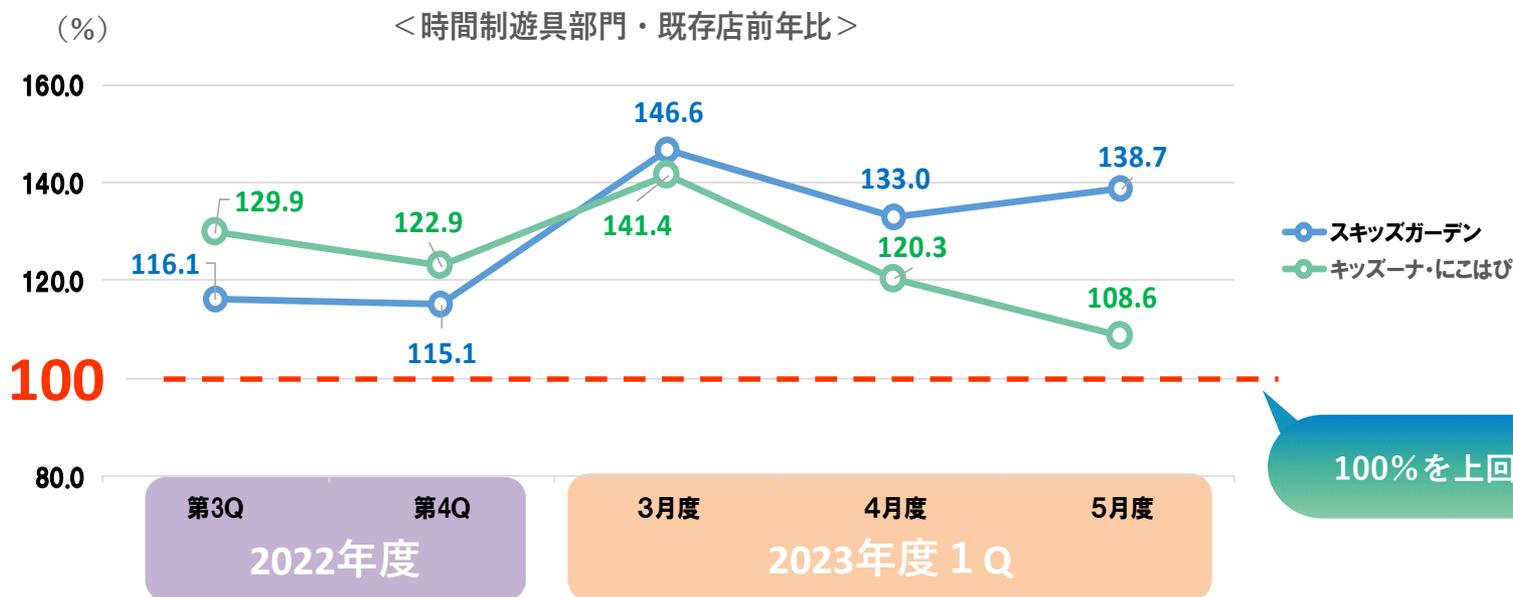
基本料金

600円 → 700円

延長料金

30分400円
→ 15分300円

同伴の保護者さま
2人目から有料化



SKIDS GARDEN
スキッズガーデン

Aeon Fantasy
kidzooona
キッズーナ

にこはぴきっず
NICOHAPIKIZU

新たなチャレンジ ①

<東京ソラマチ®>

3/17 OPEN

ちきゅうのいわ

- 「ちきゅうで遊ぶ」をコンセプトに開発した新業態1号店目
- OPEN後、東京ソラマチ®内という抜群の話題性から多数のテレビ取材を受け好調に進捗



新たなチャレンジ ②

4/2 OPEN

<イオンモール柏> 子育て応援キッズフロア

- 子育て応援機能を集約したキッズフロアを当社主体で開発
- 学童保育やこどもクリニック（今夏予定）など子育てに必要な機能を誘致し構成



新たなチャレンジ ③

4/27 OPEN

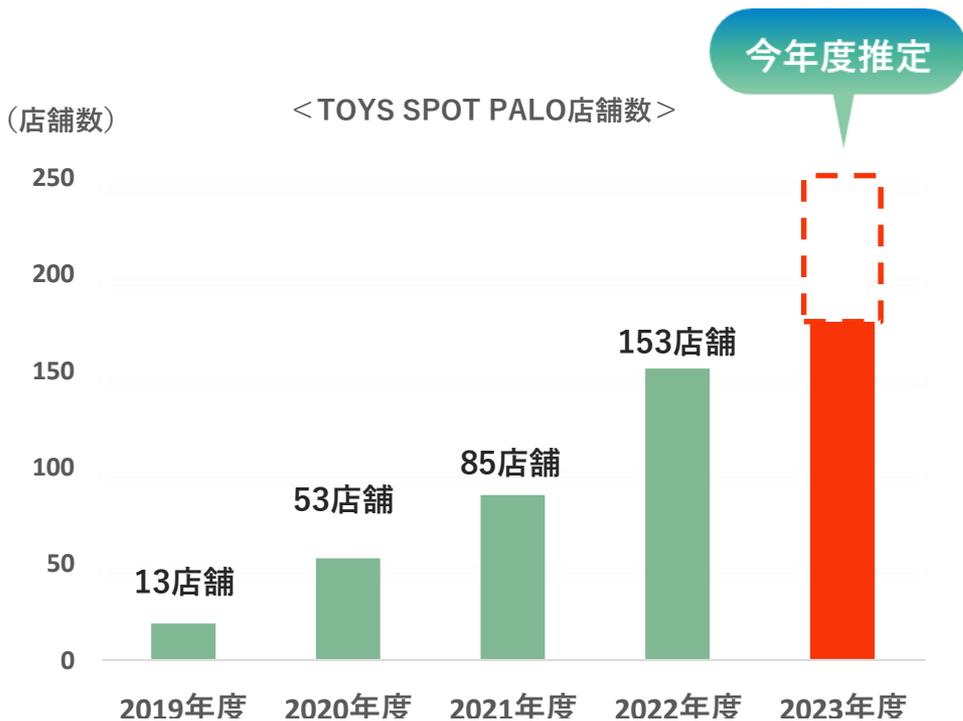
<ららぽーと湘南平塚> スキッズガーデン 単独店舗

- モーリーファンタジーの1部門として展開していた「スキッズガーデン」を初めて単独で出店
- 「ららぽーと」への出店も当社初



新規出店の加速

- 2022年度好調だったカプセルトイ専門店をさらに新規出店加速

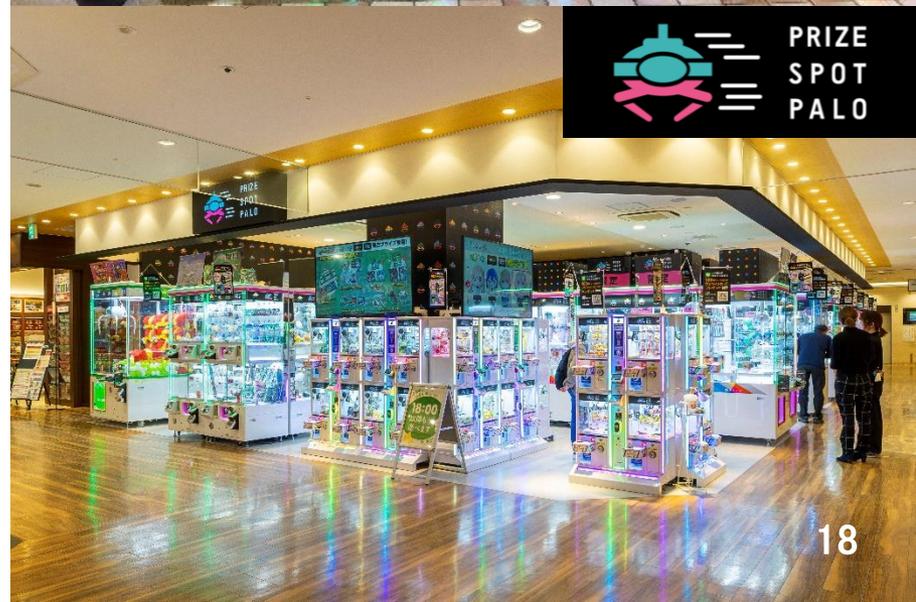
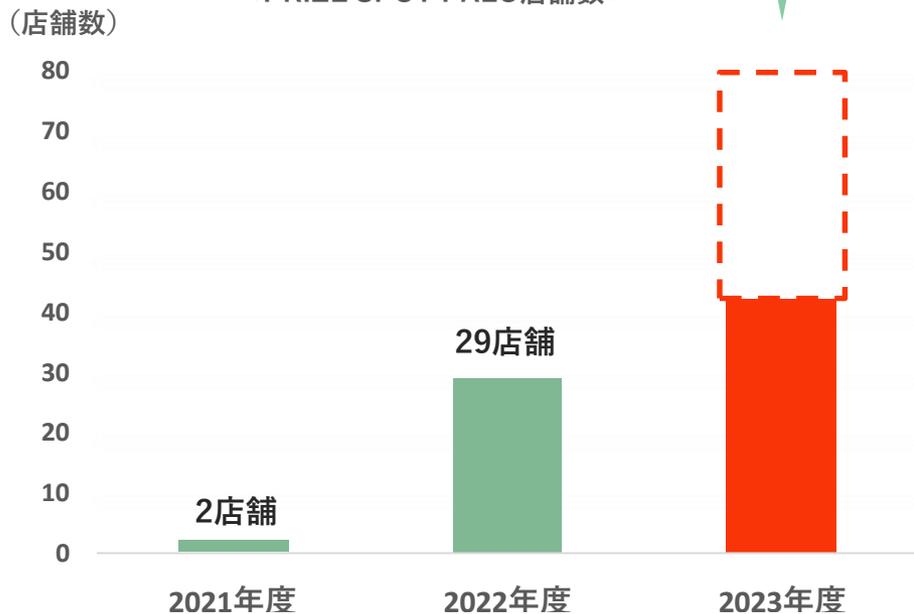


新規出店の加速

- 2023年度 + 50店舗を計画
- イオングループ外物件への新規出店も強化

今年度推定

< PRIZE SPOT PALO店舗数 >



賃金改定

- 優秀な人財の確保と定着のため、パート社員+約7%、社員+約5%の賃金改定を実施
- 求人への応募が1.6倍に増加し、既存スタッフのモチベーションも向上



従業員がいきいきと働ける 組織づくり



- 「育児目的休暇取得率 男女100%」などの実績が認められ、厚生労働大臣の認定「プラチナくるみん」を取得



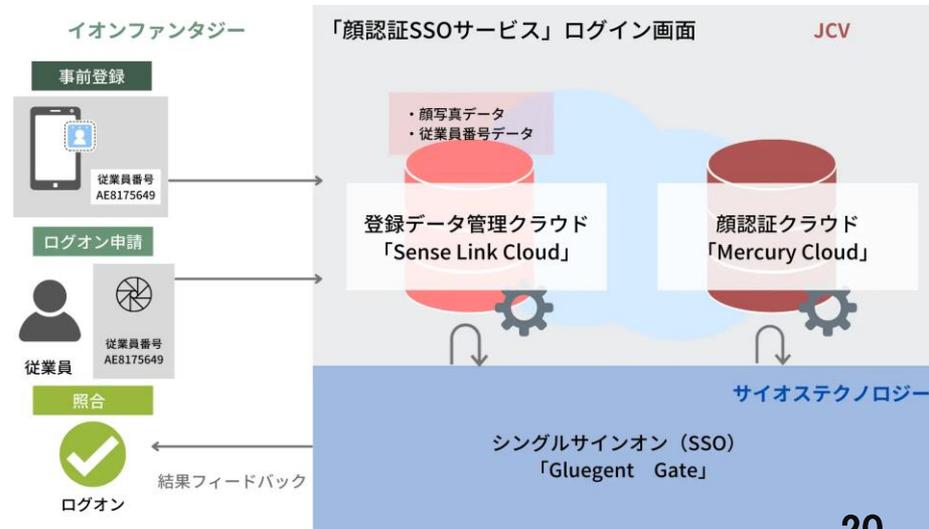
店舗作業の効率化

- 2022年度に「カミナシ」を導入
年間約65,000枚の紙帳票削減、
約8,000時間の工数削減



顔認証

- 業務システムのパスワードレス化を
目指し、顔認証へ順次移行
- 出退勤、PCログイン、事務所扉認証、
LINEWORKSへの導入完了



サステナビリティへの取り組み

気候変動への対応

- 天井照明のLED化を実施し、遊戯機械内照明も含め、当社店舗の交換可能な蛍光灯は全てLED化完了
- 環境に良い自動車について学べる「えこらんエコロジーバス」を開発



気候変動への対応



子どもたちの未来への貢献

- こどもの日にあわせて全国208カ所の時間制遊具施設を無料開放
- テレビ取材を受けるなど反響も大きく、来年度以降も継続予定



多くのお客さまがご利用される様子





2024年2月期第1四半期

02

重点取組み概要

中国事業

アセアン事業

中国・アセアン事業の業績

中国事業は順調に回復、既存店前年比176.8%

アセアン事業は4カ国で営業利益黒字

<国別業績 2024年2月期・第1四半期>

(単位：百万円)

	中国		アセアン計		マレーシア		タイ		フィリピン		インドネシア		ベトナム	
	前年	当年	前年	当年	前年	当年	前年	当年	前年	当年	前年	当年	前年	当年
売上高	782	1,447	1,858	2,502	642	1,012	123	248	557	606	334	421	200	213
店舗利益	△ 463	△ 342	556	641	105	289	△ 8	35	273	215	104	55	81	44
販管費	239	216	223	350	87	138	19	29	37	57	45	84	33	39
営業利益	△ 702	△ 558	333	290	18	150	△ 28	5	236	158	58	△ 28	47	4

(単位：%)

既存店売上高 前年比	△ 56.6	+76.8	+136.0	+54.5	+141.8	+53.9	+118.4	+76.4	-	△ 2.6	+120.8	△ 0.3	+76.1	△ 13.9
---------------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	--------	-------	---	-------	--------	-------	-------	--------

※フィリピンの既存店売上高前年比 97.4%は、2022年度の学校授業がオンラインで行われていた影響です。

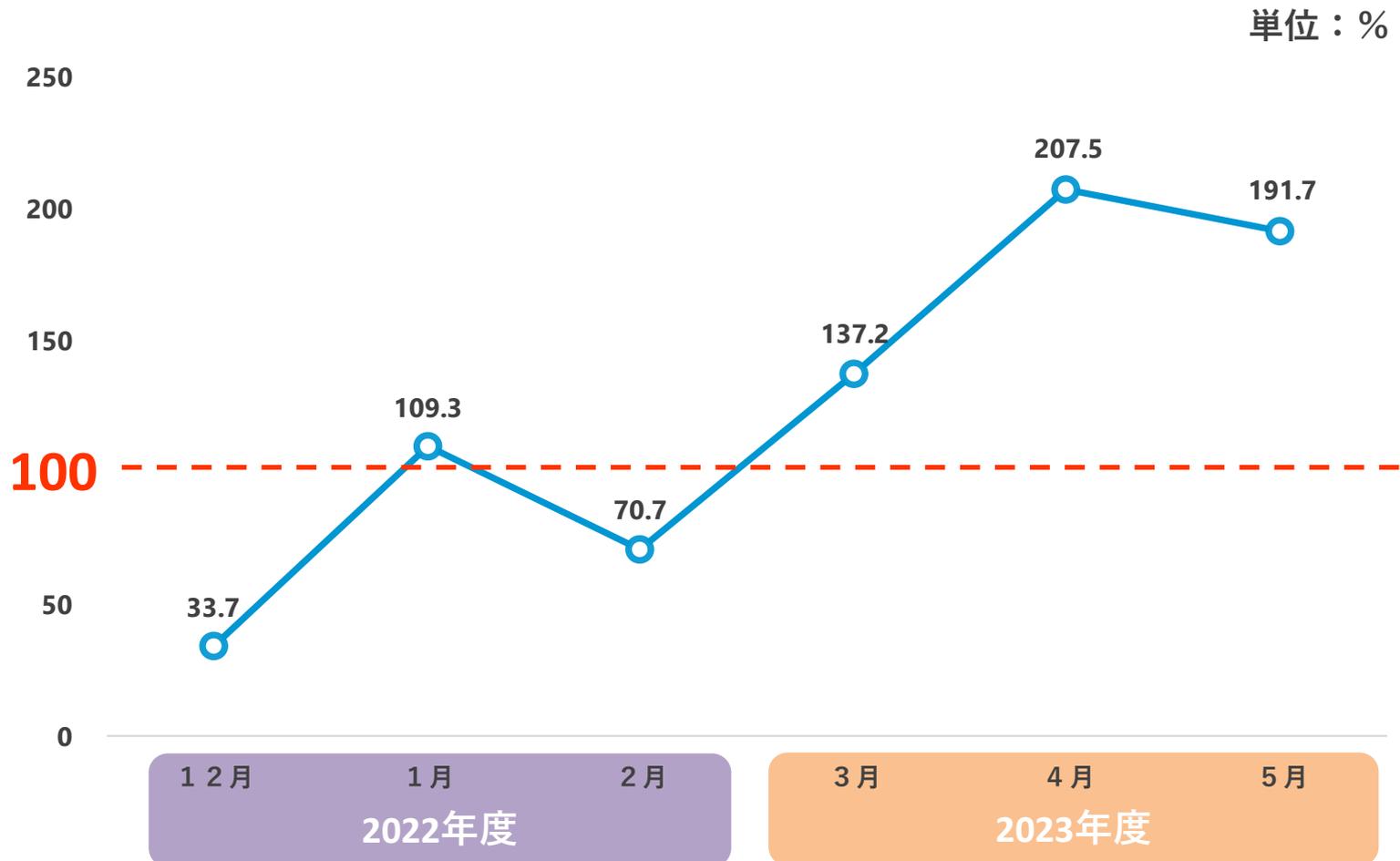
フィリピンは前第1四半期連結累計期間において、コロナ影響による家賃減免効果が約70百万円発生しております。

※インドネシア、ベトナムは前期の家賃減免効果の一巡や、更なる成長に向けた店舗人員の強化を実施しております。

売上高既存店前年同期比推移（中国事業・月別）

2022年12月ゼロコロナ政策解除後、
売上高は大きく改善

1Q累計で売上高既存店前年比は176.8%と
計画を大きく上回る



中国事業の動向

1Q 前年 既存比	1Q 19年 既存比
176.8%	84.4%

- 経済活動の再開にともない、客数は戻りつつある
- アミューズメントも回復しているが、プレイグラウンドの方が平均5%上回る回復
- 1Q 新規出店3店舗、閉店8店舗
- 今年度は投資の少ない小型店を中心に新店し、同時に不採算店舗の閉店を進める



モーリー一游育運動館

マレーシア

1Q 前年
既存比

153.9%

1Q 19年
既存比

153.4%

- 1Q 新規出店 3 店舗、閉店 2 店舗
- 土日の売上は前年比120%前後を維持し好調
- 現地で大人気のポケモンのカードゲーム機と物販を融合したポケモンコーナーをイオンと協力して展開



ポケモンコーナー

タイ

1Q 前年 既存比	1Q 19年 既存比
176.4%	82.7%

- 1Q 新規出店 1 店舗、閉店 1 店舗
- 繁忙期である 4 月の夏休み期間にお得な回数券を販売
- 5 月から地元の幼稚園招待に注力し競合との差別化を図る

フィリピン

1Q 前年 既存比	1Q 19年 既存比
97.4%	119.3%

- 1Q 新規出店 1 店舗、閉店 1 店舗
- 前年は毎日オンライン授業で約20%の売上効果があった
- 今年も週 2 日はオンライン授業は続いており既存店前年比は▲2.6%の減少にとどまる



キッズーナ (フィリピン)

インドネシア

1Q 前年 既存比	1Q 19年 既存比
99.7%	108.5%

- 1Q 新規出店 1 店舗、閉店 0 店舗
- コロナ明けのレバラン（大型連休）で人流が復活し売上好調

ベトナム

1Q 前年 既存比	1Q 19年 既存比
86.1%	94.5%

- 1Q 新規出店 1 店舗、閉店 0 店舗
- 戦略的小型店「キッズボックス」を展開



キッズボックス（ベトナム）



2024年2月期

03

連結業績予想

連結業績予想

前回（2023年4月7日）公表数値より変更はございません

（単位：百万円、％）

	2023年2月期 実績	2024年2月期 予想	前期 増減率	前期 増減額
売上高	72,690	86,200	18.6	+13,509
営業利益	849	4,000	371.0	+3,150
経常利益	1,318	2,700	104.8	+1,381
親会社株主に帰属する 当期純利益	△3,376	600	—	+3,976
1株当たり当期純利益	△10.88円	30.35円	—	+201.17円
1株当たり配当金	10.00円	10.00円	—	±0円

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として、約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる可能性があります。





04

单体资料

国内事業の売上高は 149億円、前年比 110.2%、
営業利益の前年比は462.6%

営業外費用として為替差益 195百万円を計上

（単位：百万円、%）

	前期	当期	前期比 増減率
売上高	13,519	14,902	10.2
売上総利益	1,063	1,307	22.9
販売管理費	1,019	1,103	8.2
営業利益	44	203	362.6
営業外損益	716	331	△ 53.7
経常利益	760	535	△ 29.6
税引前当期純利益	△ 539	△ 300	—
四半期純利益	△ 810	△ 508	—

国内の売上高既存店前年比は曜日調整後 108.7%

(単位：百万円、%)

	前期		当期		前期比	既存店 前年比
	実績	構成比	実績	構成比		
遊戯機械	10,955	81.0	12,184	81.8	111.2	109.7
商品（物販）	2,466	18.2	2,490	16.7	100.9	97.7
委託	22	0.2	25	0.2	117.4	—
その他	52	0.4	125	0.8	238.1	—
遊戯施設関係売上	13,497	99.8	14,826	99.5	109.8	107.4
その他売上高	22	0.2	75	0.5	340.8	115.5
売上高合計	13,519	100.0	14,902	100.0	110.2	107.5

四半期毎の業績推移（単体）

（単位：百万円、％）

	2023年2月期								2024年2月期	
	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		第1四半期	
	実績	前年同期比 増減率	実績	前年同期比 増減率	実績	前年同期比 増減率	実績	前年同期比 増減率	実績	前期比 増減率
売上高	13,519	+20.3	14,863	+19.1	14,313	+16.6	16,127	+11.9	14,902	+10.2
売上総利益	1,063	－	1,690	+665.3	1,211	+443.4	2,402	+53.0	1,307	+22.9
販管費	1,019	+10.2	926	+19.5	1,023	+9.4	996	+15.6	1,103	+8.2
営業利益	44	－	764	－	188	－	1,405	－	203	+362.6
営業外損益	716	+326.0	718	+2,029.5	△ 183	－	318	－	331	△ 53.7
経常利益	760	－	1,369	－	△ 90	－	1,630	－	535	△ 29.6
税引前利益	△ 539	－	883	－	△ 1,548	－	△ 1,500	－	△ 300	－
四半期純利益	△ 810	－	418	－	△ 1,577	－	△ 1,968	－	△ 508	－

貸借対照表（単体）

（単位：百万円、％）

	前期末		当期		前期比 増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	17,312	39.4	19,845	41.4	+2,532
固定資産	26,612	60.6	28,072	58.6	+1,459
資産合計	43,925	100.0	47,918	100.0	+3,992
流動負債	25,210	57.4	29,069	60.7	+3,858
固定負債	10,978	25.0	11,705	24.4	+726
負債合計	36,189	82.4	40,774	85.1	+4,585
純資産合計	7,736	17.6	7,143	14.9	△ 593
負債純資産合計	43,925	100.0	47,918	100.0	+3,992

(単位：%)

	2023年2月期								2024年2月期	
	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		第1四半期	
	売上高 構成比	既存 前年比								
時間制遊具	3.0	151.6	3.2	139.8	2.8	116.8	3.2	113.4	3.7	118.3
体感	5.7	119.4	5.6	113.0	5.2	106.5	5.2	105.1	6.1	109.1
カード	13.4	147.2	11.5	121.0	11.6	116.0	9.8	101.8	11.1	88.1
メダル	17.5	117.5	18.5	118.1	18.3	119.2	18.7	119.2	20.3	123.5
プライズ	53.2	114.5	54.1	118.0	54.3	112.9	55.2	111.7	50.8	106.6
シール	1.9	113.2	1.6	109.2	1.5	111.5	1.4	98.2	2.1	99.4
カプセルトイ	4.8	175.1	5.2	158.1	5.5	144.1	5.6	128.9	4.4	128.2
遊戯施設売上計	100.0	121.8	100.0	120.0	100.0	115.4	100.0	112.2	100.0	108.7

既存店売上高前年比

既存店前年比

(単位：%)

既存店 前年対比	6月	7月	8月	9月	10月	11月
既存比	126.6	115.8	120.0	123.5	113.9	108.4
既存店 前年対比	12月	1月	2月	3月	4月	5月
既存比	105.0	112.9	117.5	105.1	112.6	108.6

